【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【公開番号】特開2005-60552(P2005-60552A)
【公開日】平成17年3月10日(2005.3.10)
【年通号数】公開・登録公報2005-010
【出願番号】特願2003-293057(P2003-293057)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｇ　18/00　(2006.01)
Ａ４３Ｂ　13/04　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　18/10　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　18/79　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ 101/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｇ　18/00　Ｆ
Ａ４３Ｂ　13/04　Ａ
Ｃ０８Ｇ　18/10
Ｃ０８Ｇ　18/79　Ａ
Ｃ０８Ｇ　18/00
Ｃ０８Ｇ 101:00

【手続補正書】
【提出日】平成18年7月14日(2006.7.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
貯蔵弾性率E'(f)とは、発泡体等の粘弾性体に一定振動数ｆで振動する正弦波状の動的ひずみを加えたときに測定される弾性率（複素弾性率）のうち、加えたひずみと同位相の成分（複素弾性率の実部）のことをいう。加えたひずみとπ/2だけ位相がずれた成分（複素弾性率の虚部）は損失弾性率Ｅ''(f)とよばれ、貯蔵弾性率E'(f)と損失弾性率E''(f)との比：E''(f)／E'(f)が損失正接（ｔａｎδ）と定義される。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
本発明の発泡体において、温度25℃における線形領域での静的弾性率（微小な圧縮ひずみに対する静的弾性率）は、発泡体の変形量（収縮量）を小さくする観点から0.4MPa以上であることが好ましく、衝突の際の衝撃を小さくする観点から3.8MPa以下であることが好ましい。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６５

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６５】
ポリイソシアネート化合物のＮＣＯ％は、液粘度の上昇防止及び液の保存安定性の観点から10～25％が好ましい。ポリイソシアネート化合物を構成するポリイソシアネートモノマーとしては、十分な機械的強度を有する発泡体を得る観点から、4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネートが好ましい。